

ダイワ／ジャナス米国中型 グロース株ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

運用報告書(全体版) 第10期

(決算日 2022年10月18日)

(作成対象期間 2022年4月19日～2022年10月18日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の中型株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<2750>
<2751>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	2017年10月19日～2027年10月18日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	ベビーファンド	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドの受益証券	
	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場および店頭登録(上場予定および店頭登録予定を含みます。)の株式(DR(預託証券)を含みます。)および不動産投資信託証券	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
6 期末(2020年10月19日)	12,344	600	25.8	13,602	21.2	91.3	—	2.5	1,965
7 期末(2021年 4 月19日)	13,733	1,400	22.6	16,341	20.1	90.0	—	2.7	1,817
8 期末(2021年10月18日)	13,452	700	3.1	17,458	6.8	97.5	—	1.9	1,592
9 期末(2022年 4 月18日)	12,400	0	△ 7.8	17,150	△ 1.8	99.7	—	1.9	1,147
10 期末(2022年10月18日)	10,409	0	△ 16.1	14,360	△ 16.3	95.7	—	1.7	767

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (米ドルベース) は、S & P 500指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

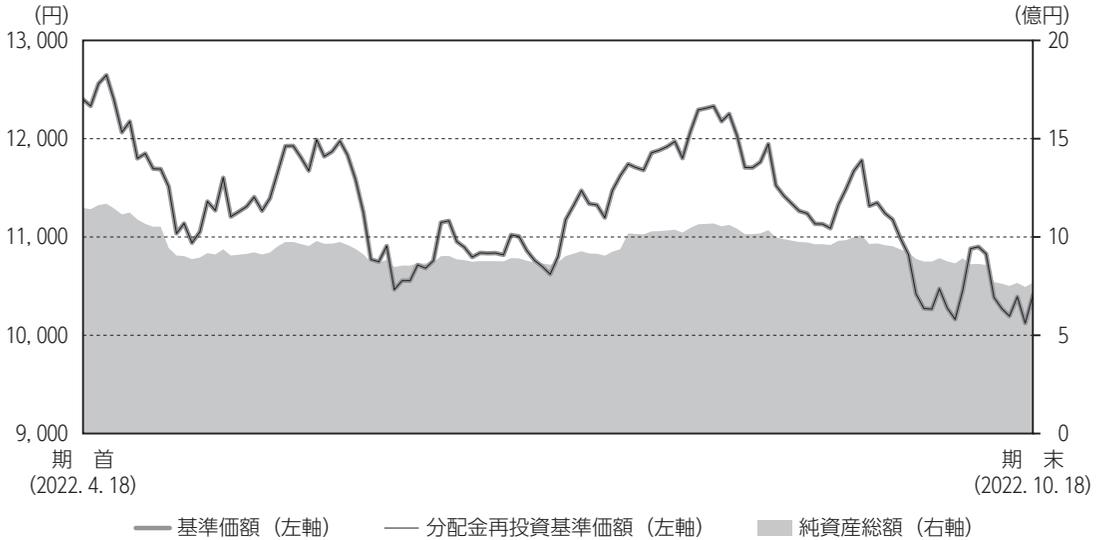
(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：12,400円

期末：10,409円（分配金0円）

騰落率：△16.1%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

米国中型株式市場が下落したことにより保有株式が値下がりし、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証券 組入比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)2022年 4月18日	12,400	—	17,150	—	99.7	—	1.9
4月末	11,849	△ 4.4	16,336	△ 4.7	94.1	—	1.8
5月末	11,926	△ 3.8	16,235	△ 5.3	94.3	—	1.6
6月末	10,896	△ 12.1	14,910	△ 13.1	95.3	—	1.6
7月末	11,624	△ 6.3	15,900	△ 7.3	93.8	—	1.7
8月末	11,340	△ 8.5	15,563	△ 9.3	96.5	—	1.7
9月末	10,276	△ 17.1	14,214	△ 17.1	94.6	—	1.6
(期末)2022年10月18日	10,409	△ 16.1	14,360	△ 16.3	95.7	—	1.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2022. 4. 19 ～ 2022. 10. 18）

■米国中型株式市況

米国中型株式市場は下落しました。

米国中型株式市場は、当作成期首から2022年6月にかけて、F R B（米国連邦準備制度理事会）がインフレ抑制を目的とした相次ぐ利上げを実施し、急速な利上げによる米国経済への悪影響が懸念されたことで、下落基調で推移しました。その後、景気鈍化を示す経済指標が発表され始めたことから利上げペース緩和の期待が高まり、いったんは上昇しました。8月中旬に入ると、パウエルF R B議長が当面利上げを継続する姿勢を示したほか、9月のF O M C（米国連邦公開市場委員会）では3会合連続となる0.75%ポイントの利上げが決定され、さらに政策金利見通しも引き上げられたことで景気の先行き不透明感が強まり、当作成期末にかけて軟調な展開が続きました。

■前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

インフレの長期化やロシアによるウクライナ侵攻により商品価格が上昇し、世界経済の先行き不透明感が強まること懸念されます。今後、原材料価格の上昇、労働需給のひっ迫および金利上昇による実態経済への悪影響が見られるようになった場合には、利上げペースをめぐる不確実性を背景にボラティリティが上昇する可能性が高いと考えます。不透明感の継続を考慮し、当戦略は、強固なファンダメンタルズを持ち、持続的な収益成長が期待できる銘柄を見極めることに注力します。引き続き、質が高く、バリュエーションが適正な銘柄を中心にポートフォリオを構築し、長期的に良好なリスク調整後リターンの獲得をめざす方針です。

ポートフォリオについて

(2022. 4. 19 ~ 2022. 10. 18)

当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率を高位に維持しました。また、保有実質外貨建資産については、為替変動リスク低減のため、為替ヘッジを行いました。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

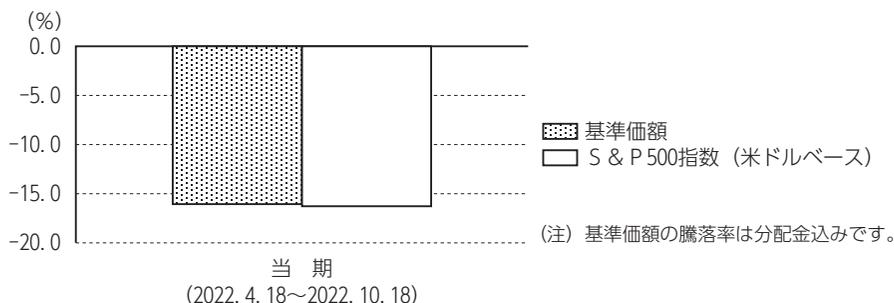
当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。セクター別では、引き続き、長期的な成長が期待できる情報技術セクターを中心としたポートフォリオを維持しました。景気の先行き不透明感が強まったことを受けて一般消費財・サービスセクターの保有比率を引下げた一方、金利上昇の環境下でも堅調なパフォーマンスが期待できるコミュニケーション・サービスセクターや、資源価格上昇の恩恵を受ける素材セクターの保有比率を上げました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2022年4月19日 ～2022年10月18日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	3,160

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、保有実質外貨建資産については、為替変動リスク低減のため、為替ヘッジを行います。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

利上げの着地点と米国経済への影響度合いがより明確になるまで、金融市場のボラティリティは高止まりする可能性が高いとみています。欧州のエネルギー問題など複数の要因が世界のインフレ動向を左右しており、F R B（米国連邦準備制度理事会）はインフレ抑制と経済のソフトランディングを両立させるために難しい舵取りをしなければならないと考えます。現時点では、利上げにより米国経済が景気後退入りする可能性もあることから、財務が健全で強い競争力を持つ銘柄の発掘に注力する一方で、今後3-5年程度の中長期を見据え、生産拠点の国内回帰や遺伝子治療法の進展、代替エネルギーへの移行などの投資テーマにも注目していく方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 4. 19～2022. 10. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	102円	0. 899%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11, 300円です。
（投 信 会 社）	(53)	(0. 469)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(47)	(0. 414)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0. 016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0. 007	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(1)	(0. 007)	
（投資信託証券）	(0)	(0. 000)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(0)	(0. 000)	
（投資信託証券）	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	14	0. 121	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(2)	(0. 014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(12)	(0. 104)	保有銘柄の合併に伴う税金の支払い、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	116	1. 027	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

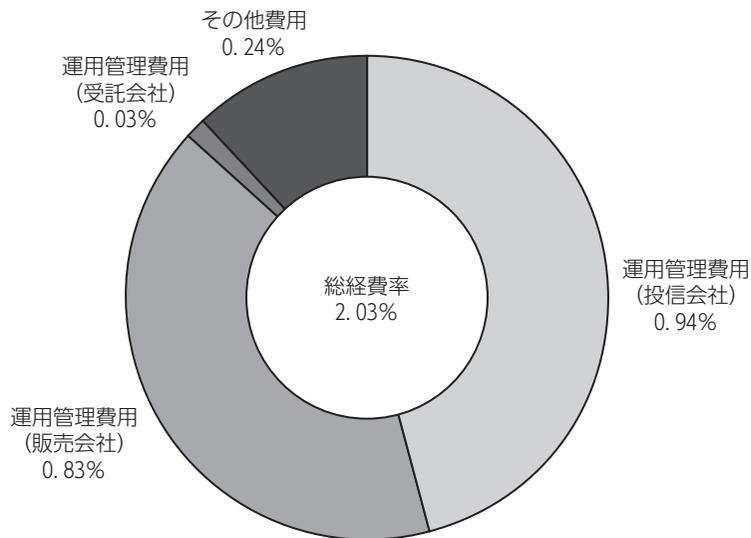
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.03%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2022年4月19日から2022年10月18日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	89,926	178,200	305,279	603,700

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2022年4月19日から2022年10月18日まで）

項 目	当 期
	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,958,010千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	6,447,922千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.30

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注2）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千口	千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	599,529	384,176	775,652	

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年10月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	775,652	97.1
コール・ローン等、その他	22,948	2.9
投資信託財産総額	798,600	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝148.88円です。

（注3）ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（6,196,018千円）の投資信託財産総額（6,360,812千円）に対する比率は、97.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年10月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,536,550,887円
コール・ローン等	14,381,867
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド（評価額）	775,652,153
未収入金	746,516,867
(B) 負債	769,294,029
未払金	760,738,621
未払信託報酬	8,529,336
その他未払費用	26,072
(C) 純資産総額（A－B）	767,256,858
元本	737,104,160
次期繰越損益金	30,152,698
(D) 受益権総口数	737,104,160口
1万口当り基準価額（C／D）	10,409円

* 期首における元本額は925,540,972円、当作成期間中における追加設定元本額は70,034,990円、同解約元本額は258,471,802円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,409円です。

■損益の状況

当期 自 2022年4月19日 至 2022年10月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 2,467円
受取利息	419
支払利息	△ 2,886
(B) 有価証券売買損益	△ 133,398,043
売買益	83,493,191
売買損	△ 216,891,234
(C) 信託報酬等	△ 8,570,376
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	△ 141,970,886
(E) 前期繰越損益金	108,714,088
(F) 追加信託差損益金	63,409,496
(配当等相当額)	(53,005,791)
(売買損益相当額)	(10,403,705)
(G) 合計 (D + E + F)	30,152,698
次期繰越損益金 (G)	30,152,698
追加信託差損益金	63,409,496
(配当等相当額)	(53,005,791)
(売買損益相当額)	(10,403,705)
分配準備積立金	179,960,218
繰越損益金	△ 213,217,016

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：2,385,237円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	53,005,791
(d) 分配準備積立金	179,960,218
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	232,966,009
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	232,966,009
(h) 受益権総口数	737,104,160口

為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
6 期末(2020年10月19日)	11,959	550	23.5	12,688	18.4	91.2	—	2.5	8,708
7 期末(2021年4月19日)	13,661	1,500	26.8	15,715	23.9	91.0	—	2.7	7,842
8 期末(2021年10月18日)	13,796	1,000	8.3	17,655	12.3	94.1	—	1.8	7,079
9 期末(2022年4月18日)	13,993	100	2.2	19,228	8.9	95.7	—	1.8	6,413
10 期末(2022年10月18日)	13,914	150	0.5	18,921	△ 1.6	94.1	—	1.7	5,509

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

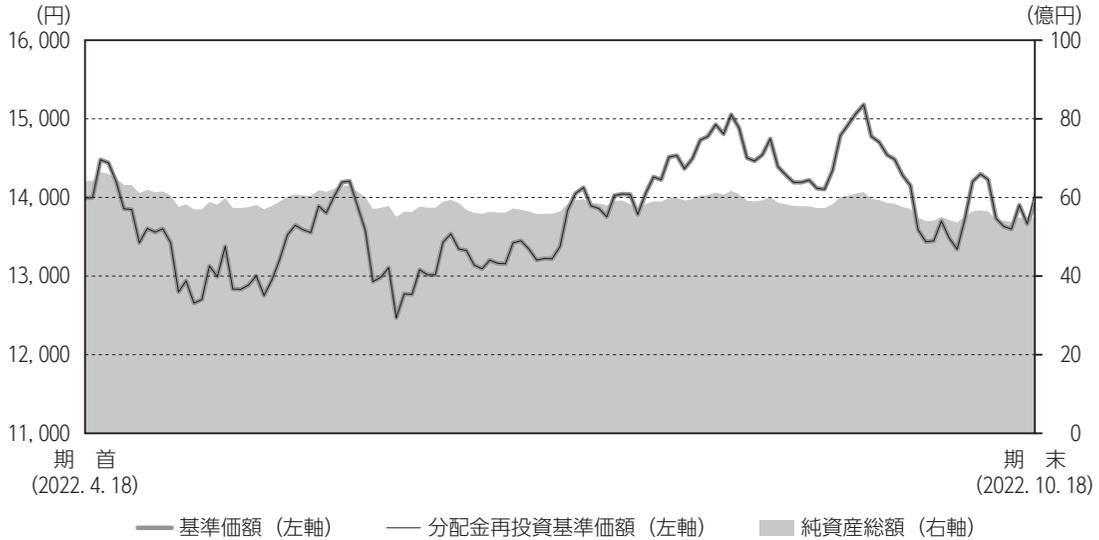
(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：13,993円

期末：13,914円（分配金150円）

騰落率：0.5%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

米国中型株式市場が下落したことにより保有株式は値下がりしましたが、米ドルが対円で上昇（円安）したことから基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証券 組入比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)2022年 4月18日	13,993	—	19,228	—	95.7	—	1.8
4月末	13,606	△ 2.8	18,630	△ 3.1	93.8	—	1.8
5月末	13,647	△ 2.5	18,422	△ 4.2	94.0	—	1.6
6月末	13,326	△ 4.8	18,036	△ 6.2	94.2	—	1.6
7月末	14,043	0.4	18,942	△ 1.5	95.5	—	1.7
8月末	14,193	1.4	19,095	△ 0.7	96.8	—	1.7
9月末	13,483	△ 3.6	18,216	△ 5.3	94.8	—	1.6
(期末)2022年10月18日	14,064	0.5	18,921	△ 1.6	94.1	—	1.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2022. 4. 19 ～ 2022. 10. 18）

■米国中型株式市況

米国中型株式市場は下落しました。

米国中型株式市場は、当作成期首から2022年6月にかけて、F R B（米国連邦準備制度理事会）がインフレ抑制を目的とした相次ぐ利上げを実施し、急速な利上げによる米国経済への悪影響が懸念されたことで、下落基調で推移しました。その後、景気鈍化を示す経済指標が発表され始めたことから利上げペース緩和の期待が高まり、いったんは上昇しました。8月中旬に入ると、パウエルF R B議長が当面利上げを継続する姿勢を示したほか、9月のF O M C（米国連邦公開市場委員会）では3会合連続となる0.75%ポイントの利上げが決定され、さらに政策金利見通しも引き上げられたことで景気の先行き不透明感が強まり、当作成期末にかけて軟調な展開が続きました。

■為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

米ドル円相場は、F R B（米国連邦準備制度理事会）がインフレ抑制を目的とした相次ぐ大幅な利上げを実施する一方で、日銀は引き続き金融緩和政策を維持したことから、円安米ドル高が進行しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

インフレの長期化やロシアによるウクライナ侵攻により商品価格が上昇し、世界経済の先行き不透明感が強まる懸念されます。今後、原材料価格の上昇、労働需給のひっ迫および金利上昇による実態経済への悪影響が見られるようになった場合には、利上げペースをめぐる不確実性を背景にボラティリティが上昇する可能性が高いと考えます。不透明感の継続を考慮し、当戦略は、強固なファンダメンタルズを持ち、持続的な収益成長が期待できる銘柄を見極めることに注力します。引き続き、質が高く、バリュエーションが適正な銘柄を中心にポートフォリオを構築し、長期的に良好なリスク調整後リターンを獲得をめざす方針です。

ポートフォリオについて

（2022. 4. 19 ～ 2022. 10. 18）

当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率を高位に維持しました。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

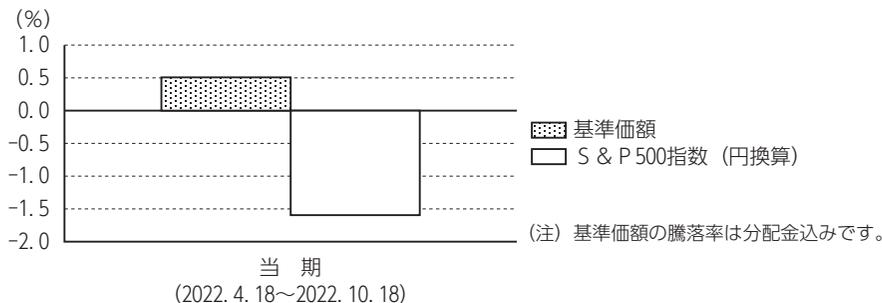
当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。セクター別では、引き続き、長期的な成長が期待できる情報技術セクターを中心としたポートフォリオを維持しました。景気の先行き不透明感が強まったことを受けて一般消費財・サービスセクターの保有比率を引下げた一方、金利上昇の環境下でも堅調なパフォーマンスが期待できるコミュニケーション・サービスセクターや、資源価格上昇の恩恵を受ける素材セクターの保有比率を上げました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2022年4月19日 ～2022年10月18日	
当期分配金（税込み）	（円）	150
対基準価額比率	（％）	1.07
当期の収益	（円）	72
当期の収益以外	（円）	77
翌期繰越分配対象額	（円）	3,952

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	18.22円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	53.90
(c) 収益調整金		669.91
(d) 分配準備積立金	✓	3,360.37
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		4,102.40
(f) 分配金		150.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		3,952.40

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

利上げの着地点と米国経済への影響度合いがより明確になるまで、金融市場のボラティリティは高止まりする可能性が高いとみています。欧州のエネルギー問題など複数の要因が世界のインフレ動向を左右しており、F R B（米国連邦準備制度理事会）はインフレ抑制と経済のソフトランディングを両立させるために難しい舵取りをしなければならないと考えます。現時点では、利上げにより米国経済が景気後退入りする可能性もあることから、財務が健全で強い競争力を持つ銘柄の発掘に注力する一方で、今後3-5年程度の中長期を見据え、生産拠点の国内回帰や遺伝子治療法の進展、代替エネルギーへの移行などの投資テーマにも注目していく方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 4. 19～2022. 10. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	124円	0.899%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13,788円です。
(投 信 会 社)	(65)	(0.469)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(57)	(0.414)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.017)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0.007	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0.007)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	18	0.134	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(16)	(0.117)	保有銘柄の合併に伴う税金の支払い、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	143	1.040	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

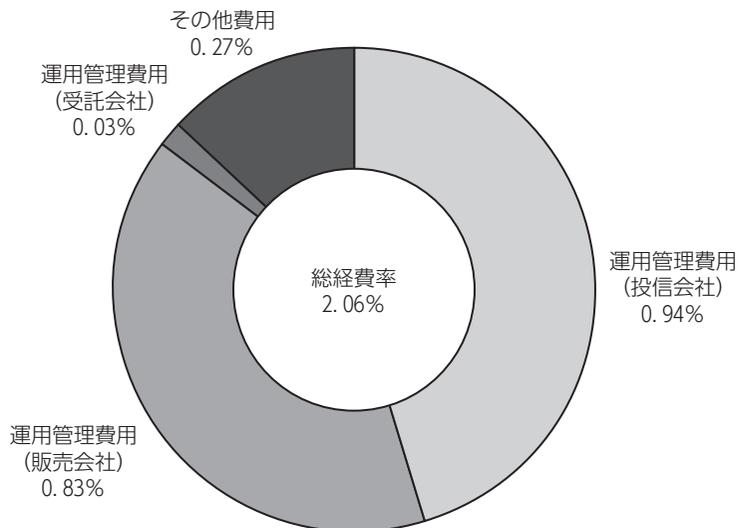
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.06%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2022年4月19日から2022年10月18日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	533	1,000	503,630	991,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2022年4月19日から2022年10月18日まで)

項 目	当 期
	ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,958,010千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	6,447,922千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.30

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千口	千円
ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	3,216,704	2,713,606	5,478,772	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年10月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	5,478,772	97.5
コール・ローン等、その他	142,927	2.5
投資信託財産総額	5,621,700	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝148.88円です。

(注3) ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(6,196,018千円)の投資信託財産総額(6,360,812千円)に対する比率は、97.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年10月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,621,700,201円
コール・ローン等	52,927,707
ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド(評価額)	5,478,772,494
未収入金	90,000,000
(B) 負債	112,270,608
未払収益分配金	59,393,142
未払信託報酬	52,715,857
その他未払費用	161,609
(C) 純資産総額(A-B)	5,509,429,593
元本	3,959,542,841
次期繰越損益金	1,549,886,752
(D) 受益権総口数	3,959,542,841口
1万口当り基準価額(C/D)	13,914円

* 期首における元本額は4,583,554,047円、当作成期間中における追加設定元本額は20,545,906円、同解約元本額は644,557,112円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,914円です。

■損益の状況

当期 自 2022年4月19日 至 2022年10月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,679円
受取利息	103
支払利息	△ 1,782
(B) 有価証券売買損益	81,436,398
売買益	109,384,797
売買損	△ 27,948,399
(C) 信託報酬等	△ 52,877,466
(D) 当期損益金 (A + B + C)	28,557,253
(E) 前期繰越損益金	1,330,553,251
(F) 追加信託差損益金	250,169,390
(配当等相当額)	(265,255,894)
(売買損益相当額)	(△ 15,086,504)
(G) 合計 (D + E + F)	1,609,279,894
(H) 収益分配金	△ 59,393,142
次期繰越損益金 (G + H)	1,549,886,752
追加信託差損益金	250,169,390
(配当等相当額)	(265,255,894)
(売買損益相当額)	(△ 15,086,504)
分配準備積立金	1,299,717,362

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：14,719,463円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	7,214,563円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	21,342,690
(c) 収益調整金	265,255,894
(d) 分配準備積立金	1,330,553,251
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,624,366,398
(f) 分配金	59,393,142
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,564,973,256
(h) 受益権総口数	3,959,542,841口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	150円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

運用報告書 第10期（決算日 2022年10月18日）

（作成対象期間 2022年4月19日～2022年10月18日）

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

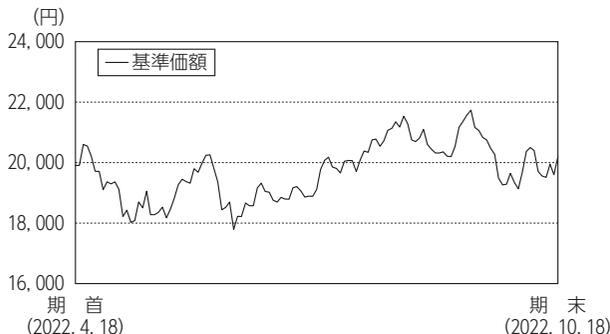
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）および不動産投資信託証券
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		S & P 500 指数 (円換算)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
	円	%	(参考指数)	%			
(期首) 2022年 4 月 18 日	19,904	—	19,228	—	95.9	—	1.8
4 月 末	19,362	△ 2.7	18,630	△ 3.1	94.0	—	1.8
5 月 末	19,451	△ 2.3	18,422	△ 4.2	94.0	—	1.6
6 月 末	19,021	△ 4.4	18,036	△ 6.2	94.0	—	1.6
7 月 末	20,070	0.8	18,942	△ 1.5	95.2	—	1.7
8 月 末	20,317	2.1	19,095	△ 0.7	96.4	—	1.7
9 月 末	19,336	△ 2.9	18,216	△ 5.3	94.2	—	1.6
(期末) 2022年 10 月 18 日	20,190	1.4	18,921	△ 1.6	94.6	—	1.7

- (注 1) 騰落率は期首比。
- (注 2) S & P 500 指数 (円換算) は、S & P 500 指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を 10,000 として大和アセットマネジメントが計算したものです。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：19,904円 期末：20,190円 騰落率：1.4%

【基準価額の主な変動要因】

米国中型株式市場が下落したことにより保有株式は値下がりしましたが、米ドルが対円で上昇 (円安) したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国中型株式市況

米国中型株式市場は下落しました。

米国中型株式市場は、当作成期首から 2022 年 6 月にかけて、F R B (米国連邦準備制度理事会) がインフレ抑制を目的とした相次ぐ利上げを実施し、急速な利上げによる米国経済への悪影響が懸念されたことで、下落基調で推移しました。その後、景気鈍化を示す経済指標が発表され始めたことから利上げペース緩和の期待が高まり、いったんは上昇しました。8 月中旬に入ると、パウエル F R B 議長が当面利上げを継続する姿勢を示したほか、9 月の F O M C (米国連邦公開市場委員会) では 3 会連続となる 0.75% ポイントの利上げが決定され、さらに政策金利見通しも引き上げられたことで景気の先行き不透明感が強まり、当作成期末にかけて軟調な展開が続きました。

○為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

米ドル円相場は、F R B (米国連邦準備制度理事会) がインフレ抑制を目的とした相次ぐ大幅な利上げを実施する一方で、日銀は引き続き金融緩和政策を維持したことから、円安米ドル高が進行しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

インフレの長期化やロシアによるウクライナ侵攻により商品価格が上昇し、世界経済の先行き不透明感が強まること懸念されます。今後、原材料価格の上昇、労働需給の逼迫および金利上昇による実態経済への悪影響が見られるようになった場合には、利上げペースをめぐる不確実性を背景にボラティリティが上昇する可能性が高いと考えます。不透明感の継続を考慮し、当戦略は、強固なファンダメンタルズを持ち、持続的な収益成長が期待できる銘柄を見極めることに注力します。引き続き、質が高く、バリュエーションが適正な銘柄を中心にポートフォリオを構築し、長期的に良好なリスク調整後リターンを獲得をめざす方針です。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。セクター別では、引き続き、長期的な成長が期待できる情報技術セクターを中心としたポートフォリオを維持しました。景気の先行き不透明感が強まったことを受けて一般消費財・サービスセクターの保有比率を引下げた一方、金利上昇の環境下でも堅調なパフォーマンスが期待できるコミュニケーション・サービスセクターや、資源価格上昇の恩恵を受ける素材セクターの保有比率を上げました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ＵＳ・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

利上げの着地点と米国経済への影響度合いがより明確になるまで、金融市場のボラティリティは高止まりする可能性が高いとみています。欧州のエネルギー問題など複数の要因が世界のインフレ動向を左右しており、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）はインフレ抑制と経済のソフトランディングを両立させるために難しい舵取りをしなければならないと考えます。現時点では、利上げにより米国経済が景気後退入りする可能性もあることから、財務が健全で強い競争力を持つ銘柄の発掘に注力する一方で、今後3-5年程度の中長期を見据え、生産拠点の国内回帰や遺伝子治療法の進展、代替エネルギーへの移行などの投資テーマにも注目していく方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	1円 (1) (0)
有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	0 (0) (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	25 (3) (23)
合 計	27

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1)株 式

(2022年4月19日から2022年10月18日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	アメリカ	百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
		347.44 (△ 130.12)	2,304 (△ 637)	1,583.63	12,040

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2)投資信託証券

(2022年4月19日から2022年10月18日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
		— (—)	— (—)	1,409 (—)	138 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

■主要な売買銘柄

(1) 株式

(2022年4月19日から2022年10月18日まで)

当				期			
買		付		売		付	
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
CORTEVA INC (アメリカ)	6.171	47,033	7,621	LPL FINANCIAL HOLDINGS INC (アメリカ)	5.294	158,688	29,975
AVANTOR INC (アメリカ)	10.909	43,329	3,971	ALLIANT ENERGY CORP (アメリカ)	12.718	99,931	7,857
NXP SEMICONDUCTORS NV (オランダ)	1.661	37,770	22,739	KLA CORP (アメリカ)	1.435	70,462	49,102
TELEFLEX INC (アメリカ)	0.863	28,305	32,798	ON SEMICONDUCTOR CORP (アメリカ)	7.55	66,409	8,795
ILLUMINA INC (アメリカ)	0.943	27,381	29,036	DOLBY LABORATORIES INC-CL A (アメリカ)	6.246	65,357	10,463
TELEDYNE TECHNOLOGIES INC (アメリカ)	0.395	21,845	55,305	WR BERKLEY CORP (アメリカ)	6.496	60,331	9,287
INGERSOLL-RAND INC (アメリカ)	3.261	19,323	5,925	L3HARRIS TECHNOLOGIES INC (アメリカ)	1.732	55,801	32,217
ARAMARK (アメリカ)	3.365	17,253	5,127	BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIO (アメリカ)	2.149	42,889	19,957
BIOHAVEN PHARMACEUTICAL HOLDING CO (イギリス/オーストラリア)	1.021	12,345	12,091	RITCHIE BROS AUCTIONEERS (カナダ)	4.979	40,933	8,221
TERMINIX GLOBAL HOLDINGS INC (アメリカ)	1.867	11,015	5,900	BOSTON SCIENTIFIC CORP (アメリカ)	6.792	38,785	5,710

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2022年4月19日から2022年10月18日まで)

当				期			
買		付		売		付	
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円	LAMAR ADVERTISING CO-A (アメリカ)	1.409	18,892	13,408

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	株数	当 株数	期 末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIO	68.62	47.13	672	100,191	情報技術
FIDELITY NATIONAL INFO SERV	77.12	65.81	506	75,472	情報技術
WR BERKLEY CORP	273.81	208.85	1,489	221,697	金融
DOLLAR TREE INC	15.87	13.53	185	27,630	一般消費財・サービス
DENTSPLY SIRONA INC	129.67	110.65	323	48,135	ヘルスケア
ALLIANT ENERGY CORP	188.27	61.09	303	45,238	公益事業
TE CONNECTIVITY LTD	136.13	116.19	1,300	193,586	情報技術
MSCI INC	6.2	5.07	204	30,416	金融
SS&C TECHNOLOGIES HOLDINGS	254.1	216.81	1,062	158,197	情報技術
ARAMARK	186.04	190.64	648	96,500	一般消費財・サービス
CBOE GLOBAL MARKETS INC	48.02	40.98	492	73,304	金融
GLOBAL PAYMENTS INC	58.27	49.73	561	83,581	情報技術

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
TERMINIX GLOBAL HOLDINGS INC	152.67	—	—	—	一般消費財・サービス
BURLINGTON STORES INC	21.6	20.89	242	36,173	一般消費財・サービス
TELEFLEX INC	35.91	39.83	804	119,807	ヘルスケア
HUNT (JB) TRANSPRT SVCS INC	81.84	69.83	1,157	172,318	資本財・サービス
CATALENT INC	85.54	68.78	511	76,144	ヘルスケア
WEX INC	80.35	71.81	1,005	149,696	情報技術
SVB FINANCIAL GROUP	6.31	—	—	—	金融
NATIONAL INSTRUMENTS CORP	236.67	201.92	777	115,708	情報技術
LPL FINANCIAL HOLDINGS INC	133.12	80.18	1,908	284,105	金融
NEUROCRINE BIOSCIENCES INC	52.09	32.18	357	53,208	ヘルスケア
DOLBY LABORATORIES INC-CL A	62.46	—	—	—	情報技術
AMDOCS LTD	194.09	165.59	1,328	197,766	情報技術
CIMPRESS PLC	80.42	68.63	166	24,798	資本財・サービス
ICU MEDICAL INC	38.05	33.3	480	71,524	ヘルスケア
REGAL REXNORD CORP	15.77	11.11	168	25,116	資本財・サービス
L3HARRIS TECHNOLOGIES INC	56.13	38.81	867	129,173	資本財・サービス
NXP SEMICONDUCTORS NV	25.34	37.35	527	78,555	情報技術
LIBERTY MEDIA CORP-LIBERTY-C	159.14	135.81	806	120,103	コミュニケーション・サービス
ZIFF DAVIS INC	40.87	34.87	258	38,520	コミュニケーション・サービス
SAREPTA THERAPEUTICS INC	33.85	28.89	330	49,209	ヘルスケア
KLA CORP	31.55	17.2	452	67,403	情報技術
LAM RESEARCH CORP	8.04	6.86	216	32,214	情報技術
ATLISSIAN CORP PLC-CLASS A	16.82	17.67	361	53,842	情報技術
RYANAIR HOLDINGS PLC-SP ADR	67.23	57.36	352	52,425	資本財・サービス
NICE LTD - SPON ADR	42.89	35.45	666	99,222	情報技術
RITCHIE BROS AUCTIONEERS	133.15	83.36	530	78,931	資本財・サービス
GILDAN ACTIVEWEAR INC	223	190.3	593	88,310	一般消費財・サービス
WAYFAIR INC- CLASS A	33.06	28.21	90	13,544	一般消費財・サービス
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	177.05	151.11	890	132,598	情報技術
ASCENDIS PHARMA A/S - ADR	25.81	27.25	305	45,462	ヘルスケア
GODADDY INC - CLASS A	180.44	153.99	1,148	171,051	情報技術
ELANCO ANIMAL HEALTH INC	213.22	181.91	224	33,393	ヘルスケア
FRONTDOOR INC	133.89	114.27	237	35,403	一般消費財・サービス
WIX.COM LTD	27.45	—	—	—	情報技術
STERIS PLC	36.01	30.74	522	77,824	ヘルスケア
REDFIN CORP	82.76	—	—	—	不動産
INGERSOLL-RAND INC	163.2	169.74	793	118,090	資本財・サービス
CERIDIAN HCM HOLDING INC	120.5	98.82	553	82,418	情報技術
CORTEVA INC	—	58.16	351	52,264	素材
PERKINELMER INC	47.41	40.47	512	76,296	ヘルスケア
AVANTOR INC	131.76	209.46	424	63,179	ヘルスケア
DYNATRACE INC	89.39	76.27	262	39,152	情報技術
ABCAM PLC-SPON ADR	93.39	79.7	121	18,154	ヘルスケア
SENSATA TECHNOLOGIES HOLDING	300.89	256.74	1,019	151,747	資本財・サービス
ON SEMICONDUCTOR CORP	384.79	309.29	1,849	275,315	情報技術
RYAN SPECIALTY HOLDINGS INC	5.8	—	—	—	金融
UPWORK INC	55.35	47.23	62	9,323	資本財・サービス
WABTEC CORP	92.62	83.97	720	107,262	資本財・サービス
WATERS CORP	13.68	9.71	271	40,419	ヘルスケア

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
FERGUSON PLC	61.74	52.68	566	84,382	資本財・サービス
RENTOKIL INITIAL ADS EACH REPRESENTING ONE SHARE OF COMMON STOCK OF RENTOKIL INC.	—	22.01	62	9,306	資本財・サービス
TELEDYNE TECHNOLOGIES INC	22.17	22.63	772	115,006	情報技術
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	54.89	46.85	415	61,924	ヘルスケア
AON PLC-CLASS A	21.14	14.65	406	60,527	金融
SCHWAB (CHARLES) CORP	41.61	35.51	239	35,648	金融
FLEX LTD	593.14	506.13	881	131,264	情報技術
ILLUMINA INC	6.3	14.1	292	43,476	ヘルスケア
SEALED AIR CORP	121.93	104.07	491	73,224	素材
CARMAX INC	114.24	97.49	604	90,032	一般消費財・サービス
COOPER COS INC/THE	21.6	18.42	479	71,331	ヘルスケア
BOSTON SCIENTIFIC CORP	388.26	320.34	1,308	194,870	ヘルスケア
VISTEON CORP	30.37	20.19	241	35,965	一般消費財・サービス
ファンド合計	株数、金額 7,442.88	6,076.57	39,750	5,918,100	
	銘柄数<比率> 72銘柄	68銘柄		<94.6%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円	
LAMAR ADVERTISING CO-A	9.605	8.196	715	106,513	
合計	口数、金額 9.605	8.196	715	106,513	
	銘柄数<比率> 1銘柄	1銘柄		<1.7%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年10月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	5,918,100 千円	93.0 %
投資信託証券	106,513	1.7
コール・ローン等、その他	336,198	5.3
投資信託財産総額	6,360,812	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝148.88円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(6,196,018千円)の投資信託財産総額(6,360,812千円)に対する比率は、97.4%です。

■損益の状況

当期 自 2022年4月19日 至 2022年10月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	27,605,562円
受取配当金	26,672,512
受取利息	941,819
支払利息	△ 8,769
(B) 有価証券売買損益	55,200,737
売買益	1,373,102,392
売買損	△ 1,317,901,655
(C) その他費用	△ 8,810,577
(D) 当期損益金 (A + B + C)	73,995,722
(E) 前期繰越損益金	3,779,557,754
(F) 解約差損益金	△ 785,789,955
(G) 追加信託差損益金	88,740,000
(H) 合計 (D + E + F + G)	3,156,503,521
次期繰越損益金 (H)	3,156,503,521

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年10月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,360,812,116円
コール・ローン等	320,419,947
株式 (評価額)	5,918,100,340
投資信託証券 (評価額)	106,513,046
未収入金	14,772,880
未収配当金	1,005,903
(B) 負債	106,525,213
未払金	8,525,213
未払解約金	98,000,000
(C) 純資産総額 (A - B)	6,254,286,903
元本	3,097,783,382
次期繰越損益金	3,156,503,521
(D) 受益権総口数	3,097,783,382口
1万口当り基準価額 (C / D)	20,190円

* 期首における元本額は3,816,233,427円、当作成期間中における追加設定元本額は90,460,000円、同解約元本額は808,910,045円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド (為替ヘッジあり) 384,176,401円
 ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド (為替ヘッジなし) 2,713,606,981円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は20,190円です。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 ([SPDJ]) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 ([S & P]) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC ([Dow Jones]) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドは、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。